

授業科目(ナンバリング)		社会科教育法Ⅱ (QB224)		担当教員 担当形態		※新谷 和幸 単独				
教員免許状取得のための選択の別	①社会(中)：必修 ②地理歴史(高)：選択		単位数	2単位	開講年次	2年	展開方法	講義	開設時期	後期
科目	教科及び教科の指導法に関する科目(中学校 社会、高等学校 地歴)									
各科目に含めることが必要な事項	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)									
授業のねらい									アクティブラーニングの類型	
基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。									④⑦⑩⑫	
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法		評価比率		
専門力	(1)子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。					課題レポート(1)		(1)20%		
情報収集、分析力	(2)社会科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。					課題レポート(2)		(2)20%		
	(3)学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。					課題レポート(3)		(3)20%		
コミュニケーション力										
協働・課題解決力	(4)模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。					課題レポート(4)		(4)30%		
	(5)社会科における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。					課題レポート(5)		(5)10%		
多様性理解力										
出席						受験要件				
合計						100%				
評価基準及び評価手段・方法の補足説明										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題レポート(1)(2)については、学習指導案の教材観・単元観、生徒観、指導観の関連性と以下の点から評価する。 教材観・単元観：学習内容と学習指導要領との対応関係、教材の特性や活用の効果に関する記述の適切さ。 生徒観：単元にかかる学習歴、子供の認識・思考、学力等の実態、学習上の課題に関する記述の適切さ。 指導観：単元を通して行う指導の工夫・学習形態、生徒観を踏まえてだてに関する記述の適切さ。</li> <li>・課題レポート(3)については、学習指導案の構成の適切さ、単元の目標・評価基準、単元計画、本時の指導の関連性、授業展開に関する記述の具体性から評価する。</li> <li>・課題レポート(4)は、模擬授業の振り返りに関するもので2つの場合がある。1つ目は、生徒役を務めた際、授業者に対して授業改善につながる意見を述べる。2つ目は、授業者を務めた際、生徒役および教員からのコメントを通じて自身の授業の反省点を述べる。両レポート共に、課題の指摘の的確さ、改善方法の的確さ、具体性から評価する。</li> <li>・課題レポート(5)については、課題レポート(4)の振り返りを踏まえて、授業の改善につながる授業理論を紹介する資料を作成する。併せて、その理論を反映させた学習指導案の修正を行う。この2点を授業で紹介し、従前の授業がどのように改善されるかを発表する。授業理論の紹介資料については、内容の適切さ、具体性、わかりやすさから評価する。学習指導要領の修正については、選択した理論の適切さおよび理論適応の適切さから評価する。</li> </ul>										
授業の概要										
<p>まず、「社会科教育法Ⅰ」で学修した社会科教育の教育目標、育成を目指す資質・能力を確認する。次に、授業づくりに臨むにあたり、子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計のための観点、情報機器の使用法、地域の活用法、学習指導案の構成について学ぶ。続いて、[地理的分野]・[歴史的分野]・[公民的分野]のそれぞれの授業づくりおよび模擬授業を実践し、その振り返りを行う。さらに、社会科における実践研究の動向を知り、模擬授業の改善案を作成する。最後に、授業を効果的に行うために必要な身に付けるべき資質・能力について考え、教育実習までに修得すべき自身の課題を確認する。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>										
教科書・参考書										
<p>教科書：文部科学省『中学校学習指導要領』財務省印刷局 文部科学省『中学校学習指導要領解説－社会科編－』財務省印刷局</p> <p>参考書：社会認識教育学会編『中学校社会科教育』学術図書出版社</p> <p>指定図書：社会認識教育学会編『中学校社会科教育』学術図書出版社</p>										

授業外における学修及び学生に期待すること

教育者になるという強い意志をもち、真摯に社会科教育を追求しようとする学生を歓迎する。また、授業外においても、自主的に自身の課題克服に励むことを期待する。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	イントロダクション	社会科教育の教育目標、育成を目指す資質・能力を確認する。	予習：シラバスの通読 復習：シラバスの再読
2	子供の認識・思考、学力等の実態	統計資料や実践研究から子供の認識・思考、学力等の実態を概観する。	予習：社会科に関する学力の実態を調べる 復習：キーワードの解説をPFに記入
3	教材観・単元観、生徒観、指導観	子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計のために、教材観・単元観、生徒観、指導観の概念とその活用方法について学ぶ。	予習：学習指導要領の教材の活用に関する記述のピックアップ 復習：キーワードの解説をPFに記入
4	情報機器の効果的な活用法	授業における情報機器の活用方法を学ぶ。	予習：電子黒板マニュアルの通読 復習：配布資料の再読
5	教材としての地域の効果的な活用法1	授業における地域の活用方法と留意点について考える。	予習：学習指導要領の地域に関する記述のピックアップ 復習：配布資料の再読
6	教材としての地域の効果的な活用法2	巡検を通じて、学外授業において主体的な学びを実践するための留意点について考える。	予習：巡検資料の通読 復習：配布資料の再読
7	学習指導案の構成1 —単元の目標・評価基準—	学習指導案の作成に必要な単元目標の立て方およびその評価基準・方法および作成時の留意点を学ぶ。	予習：配布資料の通読 復習：キーワードの解説をPFに記入
8	学習指導案の構成2 —単元の構造的な理解—	単元の概念および単元を構造的に理解することを通じて、単元計画の作成方法の基礎を学ぶ。	予習：配布資料の通読 復習：キーワードの解説をPFに記入
9	学習指導案の構成3 —単元計画、授業設計—	学習指導案の作成に必要な単元計画の立て方およびその位置付けに適した授業設計の方法を学ぶ。	予習：配布資料の通読 復習：キーワードの解説をPFに記入
10	模擬授業1 —地理的分野—	模擬授業の実践、問題点の指摘を通して、社会科地理的分野の授業づくりの工夫について考える。	予習：模擬授業準備 【課題レポート】学習指導案の作成 復習：【課題レポート】模擬授業の振り返り
11	模擬授業2 —歴史的分野—	模擬授業の実践、問題点の指摘を通して、社会科歴史的分野の授業づくりの工夫について考える。	予習：模擬授業準備 【課題レポート】学習指導案の作成 復習：【課題レポート】模擬授業の振り返り
12	模擬授業3 —公民的分野—	模擬授業の実践、問題点の指摘を通して、社会科公民的分野の授業づくりの工夫について考える。	予習：模擬授業準備 【課題レポート】学習指導案の作成 復習：【課題レポート】模擬授業の振り返り
13	授業理論と授業改善	社会科の授業理論のキーワードの紹介を通じて、社会科における実践研究の動向を知る。	予習：【課題レポート】授業理論の紹介資料 復習：キーワードの解説をPFに記入
14	授業理論と授業改善	社会科の授業理論の紹介と併せて受講者自身の模擬授業の改善案を発表し、ディスカッションを行う。	予習：【課題レポート】授業理論の紹介資料 および模擬授業改善案の作成 復習：キーワードの解説をPFに記入
15	まとめ	授業を振り返り、社会科の授業を効果的に行うために必要な身に付けるべき資質・能力について考える。	予習：これまでの配布資料の通読 復習：学習指導要領の通読